

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
チャイルドウィッシュしんでん		2026年 7月 15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		利用定員を遵守し、配置を工夫してスペースを確保しています。	利用希望が重なった場合は調整を行っており、希望に沿った利用ができるよう改善に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		職員配置基準を遵守しています。	人員に余裕が出てきましたが、送迎体制の安定的な確保が課題となっており、調整方法の工夫が必要です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	学習と療育の場所が近接する場合がありますが、相談室を設けて対応しています。階段には手すりを設置しています。	学習と療育が重なる場合があります、静かな環境の確保に課題があります。相談室の活用等に対応しつつ、時間調整により改善を図ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々清掃を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		相談室の使用や個別学習机の利用ができるようにしています。	相談室は支援で使用するため、常時利用はできません。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	会議や朝礼で情報共有を行っています。	非常勤職員は会議に参加できないことがあるため、個別に意見を聞いておりますが、対応が難しい場合もあります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		アンケートは行っておりますが、結果の共有が十分ではないため、今後は保護者への報告の機会を増やすことが課題です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的なサービス担当者会議や事業所内会議、毎日の朝礼で話し合いを行っています。	非常勤職員は勤務時間が不規則なため会議に参加できないことがあります。その場合は個別に意見を聞いていますが、対応が難しい場合もあります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		運営法人の変更に伴い外部評価体制の見直しが必要ですが、現在は実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		運営法人が行う研修や、グループ事業所で実施されている研修に参加する機会が確保されています。	業務や人員の都合で参加が難しい場合は、参加した職員から情報共有を行い、できるだけ多くの職員が参加できるよう努めています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			公表は行っていますが、内容が十分に伝わっていない場合があるため、今後は周知を徹底していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			他機関の検査結果や保護者様との面談、関係機関の情報、事業所での様子をもとにアセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		定期的なサービス担当者会議や事業所内会議、毎日の朝礼で情報共有を行っています。	非常勤職員は勤務時間が不規則なため会議に参加できないことがあります。その際は個別に意見を聞いていますが、対応が難しい場合もあります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		1		事業所内では行動観察などの簡易的な評価を中心に、他機関の検査結果も保護者様と共有しながら評価しています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		毎年ガイドラインを確認し、子どもの状況に応じたねらいや支援内容を検討して、個別支援計画を作成しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	定期的なサービス担当者会議や事業所内会議、毎日の朝礼で話し合いを行っています。	非常勤職員は勤務時間が一定でないため会議に参加できないことがあります。その場合は個別に意見を聞いていますが、対応が難しい場合もあります。

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			療育担当者が毎月活動内容を作成し、職員で検討後、児童発達支援管理責任者が確認して決定しています。必要に応じて途中で見直すこともあります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			個別支援計画は、児童発達支援管理責任者と職員で話し合い、子どもの状況に合わせて個別と集団の活動を組み合わせ検討しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日、朝礼を行っています。	非常勤職員は勤務時間が不規則なため会議に参加できないことがあります。参加できない場合は個別に意見を聞いていますが、対応が難しい場合もあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎日、終礼を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			その日の子どもの様子をHUGシステムに記録し、保護者様や職員と共有して、支援の改善に役立てています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しに努めています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1		毎年ガイドラインを確認し、適切な支援を行うよう努めています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			子どもたちの自己選択・自己決定の力を育てるため、日常や療育の中で、子ども同士が話し合って決める機会をつくるようにしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2		会議の実施のめどが立っていません。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		保護者様を通じて連携しているため、直接の連携が十分ではない状況です。今後は改善していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			保護者様を通じて連携しているため、直接のやり取りが十分にできていない現状があります。今後は改善に努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		当事業所では、児童発達支援をご利用の方について、送迎時や保護者様とのやり取りで情報共有を行っていましたが、連絡帳（緑ファイル）は十分に使えていませんでした。今後は改善して活用していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4		現在は該当児童がいないため、今後に備えて対応体制を整えます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		法人内研修への参加機会は確保しているため、地域の関係機関との連携強化に努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		公共施設での交流にとどまっているため、地域との交流機会の充実に努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		職員間で情報共有を徹底し、認識の統一に努めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		LINE、電話、懇談会等で実施しています。	送迎時の申し送りやLINE、電話、対面での相談を通じて、情報共有に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	懇談会等で実施しています。	研修の開催に向けて、早期に実施できるよう準備を進めます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	契約時等で実施しています。	契約時や各書面の変更時には、説明の機会を設けるよう努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		各種情報をもとにアセスメントを行い、個別支援計画を作成するよう努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			個別支援計画は説明・同意を得たうえで、支援を実施します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			送迎時の申し送りやLINE、電話、対面での相談を通じて情報共有を行います。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4		研修開催に向けて、早急に企画を進め実施につなげます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			体制を整備し、必要に応じて市役所や社会福祉協議会と連携して対応します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2		保護者にはHUGシステムやLINEで日々の様子や行事予定を共有し、児童には掲示等で行事予定を周知します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			個人情報は鍵付き書庫で保管し、PCはパスワード管理を徹底します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			分かりやすい言葉の使用や、実物写真・イラストを用いて説明するよう努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		他機関の行事参加が中心となっているため、法人全体で地域参加型の企画を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			マニュアルの整備や職員への周知・訓練は実施しているため、ご家族への周知強化に努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			BCPの策定や職員への周知・訓練は実施しているため、ご家族への周知強化に努めます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	契約時、フェイスシート、アセスメント等で実施しています。	保護者からの情報は職員間で共有し、対応に努めます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		安全計画の作成や職員への周知・訓練は実施しているため、ご家族への周知強化に努めます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			法人研修やグループ事業所合同研修を通じて、振り返りと学びの機会を確保します。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	契約時、懇談会等で実施しています。	個別支援計画への記載と説明・同意を徹底し、身体拘束を行わないよう予防的対応に努めます。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 チャイルドウィッシュしんでん

公表日 2026年7月15日

利用児童数 14人

回収数 13人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12			1	活動内容と人数によりちがうのかなと思います。	保護者の方に活動の様子を見ていただく機会を増やすよう検討します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13					職員の人数を保護者の方に分かりやすく伝える方法を考えます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			2		保護者の方に活動の様子を見ていただく機会を設けるよう検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					今後も安全で安心できる環境を整えてまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					一人ひとりに合った支援ができるよう努め、取り組みも正しく発信してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13				デイサービス計画がわかりません→※3で理解しました。	子どもの状況に応じた支援を今後も行ってまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1			固定化されているとは感じませんが、ある定期間をあげ、同じ活動のサイクルが適切なのかと問われたら分かりません。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	2	2		地域の子どもたちとの活動を行い、その内容を保護者の方へ発信してまいります。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					今後も正しい情報をお伝えできるよう努めてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					分かりやすく、納得いただける説明を心掛けてまいります。説明内容も明確にしてからお伝えします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9			4	父親を含め、説明してくれています。(父親が) まるなげだったところが少しずつかわってくれているように感じます。よく話し合っていると思います。/ 気になることをLINEでお話対応してくださっている。/ 毎回利用時の様子は詳しく情報をいただいているが、研修会などがあるかはわかってないです。	送迎時や面談等で情報共有し、適切な支援につなげてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			定期的というよりは、困ったときに相談するとアドバイスをいただけると思っています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12			1	共感的な支援がわからない。	今後もご本人と保護者の気持ちに寄り添った支援に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	3	3		運営法人変更後は実施できていないため、今後は事業所から呼びかけ、家族・兄弟支援を行ってまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1				本人には相談しやすいよう声かけを行い、保護者の方にも気軽に連絡や相談をしていただくようお願いしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13					ホームページで自己評価表を公開していることをお知らせし、活動や行事はSNSやシステムでお伝えしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					今後も個人情報の取り扱いに十分注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			2	訓練されているかはわかりません。	各種マニュアルや避難訓練の記録を保護者の方へ共有できるよう準備してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			3	どのよう頻度で訓練されているか知りません。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					今後も子どもたちの安全を第一に支援してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13					事故対応マニュアルを配布し、安心して利用できるよう努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1				今後も安心して通える環境づくりに努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	3		1	毎回通っているので毎回楽しみに通っているわけではない様子です。	通所を楽しみにしていただけるよう、活動やレクリエーションを工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13					外出などの社会体験の機会を増やしてまいります。